



人吉市 社協だより

No. 165

平成25年(2013年)10月1日

編集発行
社会福祉法人 人吉市社会福祉協議会
人吉市西間下町41番地1
(人吉市総合福祉センター内)
☎ (0966) 24-9192・FAX 25-1117

印刷 (有)町田印刷

社協のホームページ <http://www.hitoyoshi-shakyo.com> Eメール info@hitoyoshi-shakyo.com

赤い羽根共同募金 運動が始まります



決定!
人吉市社協
キャラクターが



名前は
「ハッピー」
これからよろしくお願ひします。

ハッピーも
共同募金を
応援!!



主な内容	赤い羽根共同募金にご協力を.....	2・3
	夏のボランティア体験の報告	4~6
	校区社協(中原校区)の活動紹介	7
	デイサロン見学記	8
	社協キャラクター決定/ボランティアセンター設置訓練	9
	ふれあいぼられんだより.....	10
	善意の風鈴・香典返し・一般寄付・善意銀行	11
災害救援ボランティア養成事業/法律相談.....	12	

じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金



人吉市支会長
永山 芳宏

自分にできる
ことから

黄金色の稲が収穫の
時季を迎え、田んぼのあ
げには赤い彼岸花が咲
き秋を感じる季節とな
りました。今年の夏は全
国的に暑い日が続き、熱
中症になられた方々も
多くおられ、また局地的
豪雨災害が発生した地
域では、家屋の損壊等が
あり、被災されました皆
様方にお見舞いを申し
上げます。本市では大き
な災害はなかったもの
の、自然災害の恐ろしさ
に危機感を持たなければ
ならないと実感して
いるところです。市民の
皆様方におかれまして
は、ご健勝にてお過ごし
の事と存じます。

平成24年度事業にお
きましては、委員各位の
ご尽力、市民皆様方と共
に各種行事・募金活動
を終える事ができ、年
末には生活困窮者や高
齢者の方々へ、善意の
心で金品をお届けする
ことができました。あ
りがとうございました。
まだまだ経済状況は
厳しいものがあります
が、今自分にできるこ
と、しなければならな
いことを、まずは家族
や地域から情報を共有
し、支えあい・助け合い
の心で住み慣れた地域
で楽しく安心して暮ら
せるまちづくり、じぶ
んの町を良くするため
に頑張ります。今年度
も10月1日から、赤い
羽根共同募金活動が
始まります。戸別募金
をはじめ青井阿蘇神
社の「おくんち祭」や
各種イベントでの街頭
募金、職場や学校・地
域の方々にご協力・ご
支援をお願いしてまい
りますので、趣旨をご
理解の上、ご協力をお
願いします。

期間：平成25年10月1日から12月31日まで

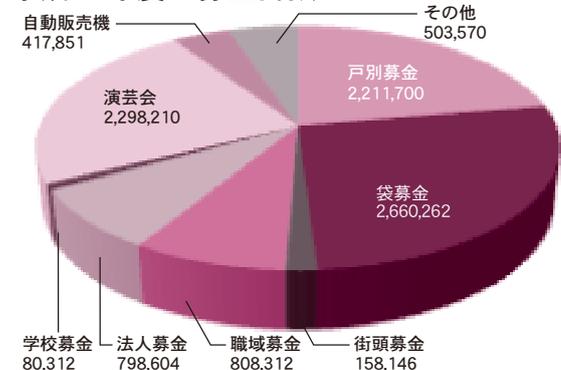
平成 25 年度目標額 **10,000,000円**

(単位：円)

前年度（平成24年度）
募金実績

9,936,967円

平成24年度 募金内訳



人吉市の福祉のために
平成25年度に配分された額は

7,820,967円

募金をしたら...



じぶんの町



集まった募金は、募金された地域で使われます

じぶんの町に役立っていた そんな募金です。共同募金

10月1日から12月31日までの期間において
いろいろな場面で募金活動を行います。
共同募金にご協力をお願いします。



戸別募金

町内会を通じて各世帯にご協力いただく募金です。

歳末袋募金

12月に町内会を通じて各世帯にご協力いただく募金です。袋の中に入れてください。

学校募金

市内12の小・中・高等学校・専門学校にご協力いただく募金です。

歳末たすけあい演芸会

12月1日(日)にカルチャーパレスの大ホールで行います。ご来場をお待ちしています。

街頭募金

10月9日のおくんち祭りと、11月9日(土)・10日(日)のひとよし産業祭会場内で、募金活動を行います。

イベント募金

10月1日(火)の地域福祉フォーラム時と、11月9日(土)・11月10日(日)に開催されるひとよし産業祭、12月1日(日)の演芸会のとき募金箱を設置します。

自動販売機

市内4か所に設置してある自動販売機でジュースを購入するとその一部が募金になります。(目印はピンクで、愛ちゃんと希望くんがついています。)



法人募金

企業にご協力いただく募金です。例年約330社の企業にご協力をいただいています。

職域募金

事業所や会社で働く従業員の方々にご協力いただく募金です。

くまモンバッジ
今年も販売します!!



限定300個

1個 **500円**です

あたまのたいそう

チャレンジ!!

まちがいさがし

右の2つの絵を見比べて
7つのまちがいを見つけろ!

答えは9ページを読んで下さい



夏のボランティア体験報告

児童福祉部会
部長 宮山 惇

今年も児童福祉部会の最も大きな事業の「夏のボランティア体験」が269名の児童・生徒の参加で、前期・後期に分け、延べ13日間市内の社会福祉施設・保育園で実施いたしました。

この事業は、「社会福祉施設等で高齢者や障がいのある人とのふれあいを通して、ボランティア意識の高揚を図るとともに福祉のこころを育てる」ことを目的としています。併せて他校の児童とのふれあいにより社会性が身につくことも願っています。

ボランティアスクールが28回目、ボランティア体験教室・高校生ワークキャンプが21回目と長い歴史の中で着実に成果が出ています。今年の参加者の中にも将来の職業に福祉関係を目指している生徒が数名おりました。

事業終了後には、毎年反省会を開いており、学校側と福祉施設側からいただいた要望や反省のご意見を参考に、より成熟した事業にするため、児童福祉部会員全員で検討いたしております。

今年も、特にボランティアスクールにおいて、部会員及び民生委員児童委員協議会の家庭児童福祉部会員の積極的なお手伝いと、

社会福祉施設側でのスケジュールの工夫もあつて、時間配分にも無駄がなく確実に成果があつたように思われます。これも学校、社会福祉施設・保育園、そして、部会員をはじめとしたスタッフ関係者の意識の高揚と理解、そのうえ絶大なご協力があったからこそ深く感謝しています。



デイケアセンター 愛生にて

第28回ボランティアスクール 参加者155名

市内の小学6年生を対象に、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等の市内社会福祉施設8施設のご協力をいただき、日帰り2日間の日程で開催いたしました。

活動の内容は、施設担当者による利用者への接し方や、キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座を受け、利用者の方とのふれ合い、体の不自由な方や高齢者の疑似体験などを行いました。

体験中は、複数の学校児童が参加することや利用者への接し方に戸惑いもあり、緊張した様子でしたが、2日目が終わるころには友達も増え、利用者の方とも笑顔で接している姿が見受けられました。



車いす体験



利用者とのふれあい

民生委員児童委員協議会の家庭児童福祉部会も参加しました!!

「ボランティアスクールに参加して」

民生委員児童委員協議会 家庭児童福祉部会
部会長 赤池 政憲

民生委員児童委員の活動には、地域活動の他に3つの専門部会活動があり、私たち家庭児童福祉部会は、児童の保育・保健・健全育成に関し、年2回の研修を行い知識の向上に努めています。

今回、社協の児童福祉部会主催の第28回ボランティアスクールに参加する児童の見守り支援ということで初めて協力することになりました。

市内の6小学校から150名以上の児童が希望し、市内の8福祉施設で高齢者・障がい者とのふ

れあいを体験しました。

1日目は、あいさつもぎこちない児童達も、利用者のリクエストで校歌を歌ったり、体操、レクリエーション、疑似体験、食事の配膳など、利用者とのふれあいの中でお互いに顔見知りとなり、2日目になると笑顔で対応できるようになりました。また、車イス・歩行器等の清掃では、感謝の言葉をもらい、心温まる体験もでき、「福祉のこころ」を楽しく育むことができたのではないかと思います。

将来は、中学生のボランティア体験教室、また、高校生のワークキャンプ等へと積極的に参加してもらえることを願っています。

最後に、施設の方々をはじめ、社協の部会部員の皆さんの活動を直接見聞きできたことで、一人ひとりが福祉のこころを感じ取られたと思います。家庭児童福祉部会部員におかれては、今後の地域福祉活動に生かしてほしいと願っています。

ご協力ありがとうございました。



民生委員児童委員もスタッフとして参加



食事の配膳

◆修了生の感想◆

このボランティア活動のおかげで、少しですが、自分の言葉づかいや態度などを変えることが出来ました。これからの経験を生かして少しずつ自分を見直していこうと思いました。(小6)

施設のこともしっかりと分かり、友達も増え、入居者の人たちとも仲良くなれました。今度からお年寄りを見かけたら手助けしようと思うことが出来ました。(小6)



車いすの清掃



お礼にくまモン体操

第21回 ボランティア体験教室 参加者109名

◆ 修了生の感想 ◆

保育園へ参加しましたが、命の大切さを改めて考えさせられ、また、小さい子でも自分でちゃんとできるという大きな発見をすることができました。今後は、このボランティア体験教室で学んだことを自分の生活にも生かせたらと思います。(中2)

中学生以上を対象に、市内の社会福祉施設や保育園にご協力をいただき、日帰り2日間の日程で体験・実習を行いました。

参加者の中には、小学生時代にボランティアスクールを経験した生徒も多く、体験中はその施設でも積極的に活動がされている姿が見受けられました。また今年、イクメン(子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性)の影響もあってか、保育園を希望される男子生徒さんが多かったのも印象的でした。



幼児とのふれあい



利用者の移動の手伝い



第21回 高校生ワークキャンプ 参加者5名

◆ 修了生の感想 ◆

初めはすごく緊張しましたが、施設の方の優しい指導もあって、毎回楽しく、貴重な体験をすることができました。お年寄りの方とのふれあいや食事介助など、将来、介護職を希望している私にとっては、とても充実した3日間をおくることができました。

来年参加できないのが残念ですが、ワークキャンプに参加したい後輩がいたらどんどん勧めていきたいです。(高3)

高校生を対象に施設へ泊まり込みをして、2泊3日の日程で体験・実習を行いました。

介護職を目指した参加者もあり、夜勤の活動など、昼夜関係ない介護活動を実感できる貴重な時間を過ごしてもらいました。



利用者とのふれあい



移動の手伝い



お礼に歌を披露

デイサロン、見学記 ③ 南願成寺町内編

わが町の「デイサロン」

第1回デイサロンが平成15年1月27日(月)南願成寺町で開催された。

初めてのことであり社協からスタッフ3名、町内からの参加者は27名(北願から4名の友情参加)。思えば早10年の月日が経過している事に感慨深いものを感じる。

当町内は、昔男性が使用したフンドシのように細長い町であり、人吉に日出る一番東にあり、東小学校近くまでの長い地域である。会館まで集まるには問題があったが、遠方の高齢者は送迎したり、相乗りすることでスタートしたものである。多いときは、男性10名・女性20名位とそれは賑やかなサロンとなった。



須恵町内会長



当初、町内会長からデイサロンの実施を要請されたときは、その内容が理解できず、かつて足を運んでいた飲みどころが頭をよぎったくらいでした。実施してみても、毎回内容は変わりますが、その活気には驚くほどでした。笑い、笑いの一日になることが多い毎日です。慰問をしていただく女性のグループからは、「ここは、男の多かけん良かもんなー?」これはしかり。

当初の特別なこととして、毎年、4月と10月に賞品を準備してのミニグラウンドゴルフ大会は真剣そのもの(町内補助による)。誕生者の写真撮影。ゴルフ上位入賞者の記念写真。

年度末にはみんなでの集合写真等々思い出に残るように心掛けています。

最近、参加されるようになられた一人暮らしの女性の方に感想を聞くと、「大変楽しい。皆から話しかけられて、名前も、顔も知って貰い、うれしい。『娘からも、良くぞ出かけるようになったね』と言われるます」との感想でした。ある年配の女性の方は、「一人生活をしていると、話す機会がなく、話す言葉を忘れてしまいがちなので、ここで一生懸命喋っています」と、これは深刻。

現在、卒寿を迎えられた方3名を始め、夫婦同伴が4組。当初から参加されて

おられる方が8名と常時18名前後で、当町内のデイサロンは健在です。



私の大好きな詩を最後に

かえりみる

ゆとりなけれど

ともかくも

いのち生かされ

歩みしき

この道

(相田 みつを)



スタッフ 清家

この会場は町内会長夫妻を始め4組ほど夫婦で参加されま
す。
また、会場ボランティアで毎回4〜5名ほどお手伝いしてもらっています。
昼からのグラウンドゴルフは大変賑わい、入賞された方、また、誕生月の方は町内会長が記念写真を撮られ、利用者さんにあげられ、皆さんに大変喜ばれています。

ボランティア 体験を終えて…



利用者と指あそび



幼児とのふれあい

この夏のボランティア体験も、長いもので28回目を迎えており、少しずつではありますですが着実に「福祉のこころ」が育っているのを実感できた期間でありました。目の前に困っている人がいれば、手を差し伸べる、声かけをする、簡単なようである、非常に勇気がいる行動です。今後、もそんな福祉のこころを育てるきっかけづくりができればと思っております。



中原校区社協

取り組みの紹介

住み慣れた所で安心して暮らせる町づくりを目標に、町内会長会中原支部を中心に、校区の関係団体との連携を密にその協力を得て、福祉の向上に努めています。

1 小地域 ネットワーク事業

町内単位での見守り体制の確立。(孤立や孤独死を防止する声かけ活動)

2 ミニサロン事業

普段外部との接触が少ない高齢者等をお招きして、ゲームや会食等のふれあいを町内ごとに年2回開催。校区役員も必ず参加してお手伝いをします。

3 老人給食 ボランティア活動

一人暮らしの高齢者等の方々へ、弁当を月1回350円でお届けします。季節に合った献立で好評です。配達時に会話も弾み、見守り活動の一端を担っています。

4 世代間交流

各町内で高齢者や子どもたちのふれあい行事

5 先手あいさつ運動

家庭や近所を行き交う人へ、まず大人が先手挨拶の実行

6 校区社協便りの発行

合同ウォーキング開催

8月17日(土)健康推進員主催のウォーキングがあり、中原校区・西瀬校区の民生委員児童委員さんや町内会長さんなど約60名が参加しました。

大柿町内一周コースで球磨川や紅取山を眺めました。終了後、地域の縁がわの『紅



ウォーキングの様子

取交流サロン』でお茶や手作りの惣菜や南瓜入り焼団子等の無料サービスを受けて、会話も弾み楽しいウォーキングとなりました。11月12日と12月21日も同じコースで、校区外の参加をお待ちしています。



西瀬・中原民児協のみなさん

お知らせ

11月下旬に中原小周辺を中心に、認知症等徘徊者対応の模擬訓練が実施されます。多数ご参加ください。



人吉市からの参加者



設置訓練の様子

平成23年度に締結した「球磨ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定」に基づく災害ボランティアセンター設置訓練が9月7日、多良木町社会福祉協議会で行われました。

この訓練は、大雨による河川の氾濫及び土砂崩れによる家屋の損壊等が発生したとの想定で行われ、次々に訪れるボランティアに対し球磨ブロックの社協職員が、受付や被災現場の説明、資材の貸出、車で現地へ搬送する手順を行いました。

また、屋外では、炊き出し訓練や足湯体験も行われ、足湯に参加した高校生は、参加者にマッサージや声掛けを行いました。

人吉球磨市町村社会福祉協議会 災害ボランティアセンター設置訓練



職員紹介



地域福祉活動
コーディネーター
重久 美智子

人吉市の地域福祉活動が、多くの方々のお力によって築かれていく事に、大変感謝しております。

私も、皆様のお力になれますように気持ちを締め、頑張りたいと思います。どうぞ、宜しくお願いします。

●お詫びと訂正●

7月1日発行の社協だよりNo.164号のP17に掲載した手話サークル「わかぎ」の記事とP20に掲載した香典返しの記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

P17下段2～3行目

誤・視覚障害者 ⇒ 正・聴覚障害者

P20 香典返し

誤・榊 愛子様 御息女 大柿 壮子様 続柄に誤りがございました。正しくは、御母堂様です。

人吉市社協 たくさんのご応募ありがとうございました!

イメージキャラクターが決定!

応募総数40点の中から、厳正なる審査の結果、金津さんの作品「ハッピー」が選ばれました。これから市社協のイメージキャラクターとして活躍していきます。よろしくお願いします!

なまえ
ハッピー

新潟県上越市
金津 博さんの作品
最優秀賞

金津さんより

この度は私の拙い作品を採用していただきましてありがとうございました。このハッピーが人吉市社協の未来に向って、飛躍・発展していってくれればうれしく思います。私の分身がまた旅立ち、人吉市の皆さんに可愛がって頂けます様よろしくお願い致します。

3ページのまちがいがしぎの答え

- ①愛ちゃんの汗の数 ②希望くんの目
- ③前から3番目の子の鼻 ④ファイト～!!の旗の色
- ⑤順位の小旗が1から4に
- ⑥バトンがにんじんに ⑦空の雲

●ボランティア募集●

第46回人吉市歳末たすけあい演芸会の運営をお手伝いできる方を募集します。仕事の内容は、会場係等を考えています。ぜひ、やってみたい方は下記までご連絡ください。

【問合せ先】人吉市社会福祉協議会 ☎24-9192

ふれあい ぼられんだより

No.49
人吉市
ボランティア
連絡協議会

暑く忙しかった夏もようやく終わりを迎え、さわやかな秋晴れの空が続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

ボラ連のこれまでの活動及び今後の活動についてお知らせします。

まずは、8月24日(土)・25日(日)イスマミ本店前にて開催された「24時間テレビ」く愛は地球を救うく募金活動に参加しました。会員9名の参加をいただき、地元高校生たちと一緒に呼びかけました。

次に、9月7日(土)多良木町社協を会場に開催された「災害ボランティアセンター設置訓練」に参加しました。会員6名の参加をいただき、今回は設置訓練のボランティアとしての参加で、受付からニーズ(被災者からの依頼)とのマッチング、そして、グループ毎に出發するところまでを経験し、ボランティアセンターの流れを理解する良い機会となりました。

今後の活動としましては、10月5日(土)・6日(日)八代市にて開催される「第7回火の国ボランティアフェスティバル八代」に会員16名で参加し、2日間の研修はもちろん、研修後は交流会も予定されており、他のボランティアグループと意見交換、交流を深めてまいりたいと思っております。また、同月下旬には、芦北町ボランティア連絡協議会との意見交換会を開催予定しております。

そして、10月20日(日)九日町一体を会場に「第2回とっておきの音楽祭inひとよし」が開催されます。同日に「百円市」も開催されることもあって、人吉市ボラ連でもお茶の接待と合わせ、ぜんざいを100円にて販売(旧花のヴァンドール)いたします。音楽祭へお越しの際は、是非お立ち寄りください。

人吉市ボランティア連絡協議会
会長 馬場 佳代子

ひとよし音声訳 ボランティア「さくらの会」

会員は今のところ15名、第二の人生を送っているものがほとんどで、会の名称通り**音声訳**をしています。目の不自由な方に「市広報」や「社協だより」を音声に変え、カセット・テープに入れてお届けするのです。新しい機器が次々に登場してくると、視覚障害者の方々も、私たちも、技術・金銭の両面で、ついていけなくなるのでは、と心配です。新しいものを吸収できる若い人の参加が待たれます。会員それぞれ毎年老化が進んでいますし新陳代謝の必要を感じています。音声訳(朗読と違い、感情を入れない)の技術を高めるため、**毎月第一水曜日に学習会**を持っています。元NHKアナウンサーを講師に招くこともあります。また、年に4回「声のたより」として、会員の身近を語ったり、料理のレシピや、随想などを声でお届けしますが、これがなかなか好評です。視覚障害者の方々と一緒に卓球大会をしたり、一緒にウォーキングをしたり、食事会も持ち、お互いの交流を深めています。

音声訳の材料は無味乾燥なもの(失礼)が多いので、時には文学作品の朗読にも取り

組みます。昨年は講師の先生も一緒に球磨村の施設「さんがうら」に合宿して勉強しました。「**自分が楽しくなくっちゃ他人様を喜ばせることはできない。**」ボランティアは強制ではないですね。長続きさせるコツは、活動させてもらって楽しさを味わい、しかも他人様のお役に立つ喜びを実感することでしょう。ですから「極楽行き」は間違いなし。「すこしでも早くお届けなくては……」と、ちょっと無理することもあります。また家族に気を使わせることもありますが、家族からも全面協力してもらい、感謝しながらの活動です。

会長 鶴上 寛治



鈴の入った球で卓球

温かい善意に感謝します

市社協へご寄付芳名



次の方々から「社会福祉にやくだててほしい」と、心温まるご寄付をいただきました。皆様のご厚意に深く感謝申し上げますとともに、故人の冥福をお祈り申し上げます。

香典返し (H25.6.21 ~ H25.9.15)

(敬称略)

氏名	続柄	故人名	住所	氏名	続柄	故人名	住所
那須 禮子	御主人	那須 信敏	上青井町	西 重春	御子息	西 健吾	東間下町
大倉 世	御尊父	大倉 喜八郎	下原田町荒毛	守屋 巧	御母堂	守屋 カツエ	名古屋市中区
西 ヒデ子	御主人	西 操	上薩摩瀬町	竹迫 幸子	御子息	竹迫 信二	熊本市西区
内谷 サチ	御子息	内谷 正彦	中神町馬場	加賀 邦保	御母堂	加賀 ヤエ子	下原田町荒毛
福屋 八重子	御母堂	堀内 ミエ子	鬼木町	岩本 嘉男	御母堂	岩本 スナエ	神戸市灘区
丸尾 ミサヲ	御主人	丸尾 保行	鬼木町	多武 克人	御母堂	多武 コマノ	南町
吉田 澄子	御主人	吉田 勉	瓦屋町	尾方 貞男	御令室	尾方 モモ	下永野町
佐伯 美和子	御母堂	木野 スエカ	願成寺町	村田 一美	御母堂	村田 久美子	瓦屋町
山田 恵生	御令室	山田 照美	上漆田町	壁瀬 裕二	御母堂	木下 シヅエ	熊本市南区
樫木 ミリ	御主人	樫木 庄吉	鬼木町	立石 ハツ子	御主人	立石 春巳	球磨郡球磨村渡
池田 郁夫	御母堂	池田 ミサキ	鬼木町	野中 トシエ	御主人	野中 春男	西間下町
彌永 親男	御令室	彌永 ヒサ子	北願成寺町	宮田 浩子	御主人	宮田 浩治	七日町
平川 常夫	御母堂	平川 トキワ	八代市永碓町	鳥越 悦子	御主人	鳥越 満	下戸越町
中村 初美	御母堂	出口 秋子	西間下町	杉田 ヒロ子	御主人	杉田 純一	大工町
川口 篤	御母堂	川口 ヤエカ	上新町	金子 龍一	御母堂	金子 ミヨシ	瓦屋町
松尾 秀敏	御兄	松尾 義雄	願成寺町	浦川 美沙子	御主人	浦川 政克	下原田町堀
尾方 恵子	御尊父	尾方 仙一	下青井町	立石 正子	御尊父	立石 輝雄	上林町
春口 好	御母堂	春口 テル子	西間下町	田代 義男	御尊父	田代 義行	下薩摩瀬町
松岡 容子	御主人	松岡 俊郎	東間上町	嶋田 蓉子	御主人	嶋田 敏康	合ノ原町
岩城 芳雄	御令室	岩城 三千代	灰久保町	権頭 英子	御主人	権頭 俊	七日町
森山 隆芳	御令室	森山 トメカ	古仏頂町	日當 千エ	御姉	宮原 ミツ子	下青井町
東 義崇	御令室	東 フミ	東間上町	井口 幸子	御主人	井口 雄二	下林町
上田 治男	御尊父	上田 哲男	下原田町堀	橋本 鈴喜	御令室	橋本 利智子	西間上町
簗田 登代美	御母堂	永田 ツタエ	下永野町				

○一般寄付 (H25.6.21 ~ H25.9.15)

氏名	住所	物品
(株)KRC 人吉球磨支社 様	球磨郡錦町西	金 一 封
新町老人クラブ蓬菜会 様	老神町	7,598 円
人吉タクシー(株) 様	九日町	25,500 円

○善意銀行 (H25.6.21 ~ H25.9.15)

氏名	住所	物品
川口 博子 様	上新町	リハビリパンツ 他
加賀 邦保 様	下原田町荒毛	シャワーチェア 他
井口 芳子 様	城本町	車イス・ポータブルトイレ 他

訪問介護員 パートヘルパー募集

社会福祉協議会では、パートヘルパーを募集しています。地域の高齢者・障がい者の介護支援を一緒に行いませんか。

(1週間の勤務時間数は、20時間未満です。)ご希望の方は下記までお気軽にお電話ください。

☎ 24-9192 (担当: 田中)

第2回 とっておきの音楽祭 in ひとよしが開催されます

とっておきの音楽祭は、「みんなちがってみんないい」を合い言葉に、障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽の力で心のバリアフリーを目指す音楽祭です。街の中がステージとなり、聴く人、観る人ボランティアする人など、あらゆる人々が集い、街行く人も観客となります。一緒に演奏し、歌い、踊り、演じませんか。

開催日 平成25年10月20日(日)

開催時間 午前10時~午後3時

会場

九日町
堤診療所駐車場
あゆの里駐車場
一富士旅館
紺屋町



参加者募集

人吉市災害救援ボランティア養成研修

目的

災害ボランティア活動に関心のある市内在住の市民を対象に、災害ボランティア活動の取組み等を学び、今後本市における災害ボランティアリーダーとして活動できる人材を育成することを目的とします。

参加対象者

市内在住の方で、研修にすべて参加できる方。年齢に制限はありません。また、研修終了後、人吉市災害救援ボランティアバンクに登録できる方。

募集人員

20名程度 (災害救援ボランティアバンク登録者除く)

《研修内容》

研修Ⅰ 平成25年10月27日(日)

講義Ⅰ	9:00~9:30	災害救援ボランティアとは・災害時のボランティア参加の基本について (人吉市社会福祉協議会)
講義Ⅱ	9:40~10:30	人吉市の災害と防災計画について (人吉市役所防災安全課)
講義Ⅲ	10:30~11:45	九州北部豪雨災害時におけるボランティア活動について (阿蘇市社会福祉協議会)

研修Ⅱ 平成25年11月10日(日) 9:00~12:00

実践訓練

※情報伝達訓練 ※災害ボランティアセンター設置訓練 ※炊き出し訓練 (ハイゼックス米を炊いて食べてみよう)

研修Ⅲ 平成25年11月17日(日)

視察研修

視察研修	10:00~12:00	被災地視察(場所/長崎県島原市) がまだすドーム視察
講義	13:00~15:00	災害時のボランティア活動について 島原ボランティア協議会 理事長 旭 芳郎 氏

■募集締め切り 平成25年10月23日(水) ■参加費/無料



阿蘇市での活動の様子

保険は、当会で負担します。

●問合せ・申込み先/人吉市社会福祉協議会
電話: 24-9192
ホームページ <http://www.hitoyoshi-shakyo.com>

心配ごとと無料法律相談所

市社会福祉協議会では、生活上の法律に関する相談に応じられるよう、司法書士会人吉支部のご協力をいただいて相談所を開設しています。

開催日 毎月第1木曜日
時間 午後1時30分~午後4時
場所 市総合福祉センター
連絡先 24-9192

秘密厳守

相談無料

要予約

編集後記

朝夕の冷気に、やっと秋の訪れを感じるこの頃です。今年も10月1日から『赤い羽根共同募金』が始まりました。自分の町を良くするための募金です。地域や職場あるいは「おくんち祭」の街頭募金などに、ご協力をお願いします。また、市社協のイメージキャラクターとして誕生した「ハッピー」のPR活動にもご期待ください

(M)

法律相談		
	開催日	相談員名
11月	11月7日(木)	赤池 利光
12月	12月5日(木)	西 秀夫
1月	1月9日(第2木曜日)	宮本 稔也
2月	2月6日(木)	赤池 利光